

陳情書

令和3年8月30日

横浜市長 山中竹春様

陳情者 認定 NPO 法人ホタルのふるさと瀬上沢基金
横浜市港南区港南台 9-30-31
理事長 角田東一

上郷開発はSDG s と不整合

陳情項目：

横浜市は、SDG s 15.2 で「森林減少の阻止・回復・増加の実現を目指す」となっているのに対して、みどり税と上郷開発に問題がある為陳情します。

- 1 横浜市は、「SDG s 未来都市横浜」としているにも拘らず緑地を潰す上郷開発計画を推進しており、「SDG s 15.2」と不整合の為上郷開発計画の凍結又は中止を求めます。
- 2 横浜市は、緑地の減少に歯止めをかける為に創設した「横浜みどり税」を徴収しながら緑地を潰す上郷開発を認めた上に「企業の不良資産である開発不可能な奥山の緑地買収」に使用していますが、みどり税制定時の目的である「開発を阻止し開発が計画されている緑地の取得財源」として使用することを求めます。

陳情の趣旨：

横浜市は、環境未来都市を標榜して来ましたが宅地開発による都市化で極端に緑地が減少し、気温は 100 年間で 2.8℃上昇し世界平均の 1℃を大幅に上回っています。政府は、2050 年カーボンニュートラル、グリーン社会の到来を宣言しました。気候危機は、カーボンニュートラルと緑地の保全拡大を同時に行なわねば、企業も人も存続できないことがはっきり見えてきました。

世界では、1t.org が国連に協力し、1 兆本の木を保護・修復・成長させようとしています。アップルは、森林再生に 2 億ドルの資金を提供し、1 億本の植樹に着手しました。セールスフォースは、2030 年までに 1 億本の植樹計画を設定し、横浜で行われた国際会議では参加者数に応じた植樹をすると宣言しました。

横浜市は、国の方針や世界の潮流に逆行し未だに市街化区域の拡大を推進し、緑地を破壊する上郷開発計画を進めています。横浜市は、「SDG s 未来都市」を目指すならスローガンを掲げるだけでなく、上郷開発計画を凍結又は中止して下さい。